

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	御幸日中活動センター	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県央福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員30名） 在籍者数 21名（令和2年3月31日現在）																																										
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>97,721千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>96,595千円</td> <td>1,126千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>75,233千円</td> <td>人件費</td> <td>67,874千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助</td> <td>19,277千円</td> <td>事務費</td> <td>16,277千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等</td> <td>0千円</td> <td>事業費</td> <td>8,820千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>3624千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,211千円</td> <td>施設整備等支出</td> <td>0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>97,721千円</td> <td>合計</td> <td>96,595千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	97,721千円	福祉事業活動	96,595千円	1,126千円	給付費	75,233千円	人件費	67,874千円		川崎市単独扶助	19,277千円	事務費	16,277千円		指定管理委託料等	0千円	事業費	8,820千円		拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	3624千円		その他	3,211千円	施設整備等支出	0千円		合計	97,721千円	合計	96,595千円			
収入		支出		収支差額																																							
福祉事業活動	97,721千円	福祉事業活動	96,595千円		1,126千円																																						
給付費	75,233千円	人件費	67,874千円																																								
川崎市単独扶助	19,277千円	事務費	16,277千円																																								
指定管理委託料等	0千円	事業費	8,820千円																																								
拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	3624千円																																								
その他	3,211千円	施設整備等支出	0千円																																								
合計	97,721千円	合計	96,595千円																																								
サービス向上の取組	<p>・医療的ケアが必要な方を含め重度の利用者を多く受け入れ、看護師が常駐する体制をとるとともに、健康診断や嘱託医による健康相談を定期的実施し、重度障害の利用者の体調面の管理等に努めている。また、近隣のスポーツセンターでの週1回のリズム体操や障害者スポーツデーへの参加などを始め、利用者の身体機能の維持・向上等に取り組んでいる。</p> <p>・スポーツセンターでの自主製品の販売開始や、利用者による他事業所への自主製品の納品、地域のイベントへの参加などを積極的に行い、地域社会との交流を図った。</p>																																										

3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度より看護師が常駐できる体制を整備し、喀痰吸引や胃ろうなど医療的ケアが必要な重度重複障害の利用者に対応した。また肢体不自由の利用者については、関係機関への個別の専門相談や各専門職とのケア会議を実施するなど複数機関での支援体制をとり、利用者一人ひとりに対応した支援を行っている。 ・特別支援学校等卒業生対策として、学校や家族と丁寧な調整により、2名の卒業生の受け入れを行い、定員の充足を図った。 					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出については、経費の見直しを行うなど、無駄を削減しているが、人件費増加等により当初の見込みを上回った。 ・収入については、利用者の出勤率の向上や、加算の算定要件を満たすことで予算を上回る収入を確保することができた。 ・監査法人からの監査を受け、指摘事項を職員内で共有する等、社会福祉法に基づく適切な会計手続が行われている。 					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムでは、家族からの要望に応えるため、今年度より川崎市生涯学習財団の講師を招いて、音楽プログラムを開始した。 ・幸スポーツセンターでの、体操や障害者スポーツデーの参加を開始し利用者の身体活動の促進を図った。毎月1回はイベントを行う等のプログラムの拡充のみならず、スポーツセンターにおいて自主製品の販売を開始した。また、自主製品の販売委託先に利用者自ら納品に出向くなど、地域や他事業所との交流を積極的に行い、地域での活動の場を広げている。なお、自主製品の売り上げは前年度と比較すると8%増加している。 ・日常の支援で職員が気づいたヒヤリハットについて、法人全体で事例を分析し事故を防止するための仕組みを作り、サービスの質の向上に努めている。 ・連絡帳や面談、意見箱などを活用し、日常的に家族や利用者からの要望を聞き取り、支援に反映させている。また令和元年度については、利用者に対し令和2年度に開催予定の行事に対する意向アンケートを実施している。 					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ボディメカニクスに関する実技を通じた研修や、自閉症についての研修、強度行動障害研修に参加し、質の高い職員の育成を図っている。 火災や地震を想定した避難訓練を3回実施した。また災害時に備え、医療的ケアが必要な利用者のために自家発電機を購入するなど施設の防災力向上に尽力した。 看護師の体制を前年度よりさらに充実させ、手厚い支援を行っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 各種保守・点検、警備等については、委託により仕様書に沿って適切に実施されている。また、活動中の施錠確認や、最終帰宅の職員が点検マニュアルを基に防犯確認できるよう、防犯対策を講じている。 外溝の清掃は、職員自身が定期的に行い、美観を損なわないよう努めている。また、施設内の清掃に関して、障害のある清掃員を直接雇用しており、「サービスを受ける対象としての障害者」という一面に意識が偏らないように考えられていることは評価できる。 					

5. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・スポーツセンターでの体操や障害者スポーツデーへの参加を始めることで、利用者の身体機能の維持・向上に努めている。また、スポーツセンターでの自主製品の販売開始、他事業所への納品に利用者が出向くなどの活動は、プログラムの幅を広げるだけでなく地域社会との共生への取組みとして評価できる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・利用者の意見・要望を収集する方法を確立し、利用者ニーズを踏まえた支援を行うこと。
・医療依存度の高い重度重複障害のある利用者の受入れを積極的に行っていることについては評価できるが、引き続き定員の充足に向けた取組を行っていくこと。